

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年11月5日

石巻・大橋応急仮設集会所 「ハッピードール」

スタッフ到着の朝9時過ぎには、もう参加者の方が数人集会所の椅子に腰掛け、待っていてくれ、びっくり！ その後も、そくそくと住民の方が「ハッピードール」のワークショップへと詰めかけてくださいました。

回を重ね、《自分がつくるものに必要な道具は持参》とばかりに、ソーイングセットを広げる方も増えたような気がします。

「だっておだくに、これないんだもの」

確かに、希望の全部は揃えられませぬ。

おうちで仕上げた巾着を見せてくださる方。

布地の折れ目が気になるとばかりに、スチームアイロンもかり出されます。うさぎの人形づくりは、大橋団地集会所の定番になったかのように、次々と可愛らしいマスコットが誕生してゆきます。仲良しおばあちゃん二人組は、今日も一緒。針をチクチク動かしながら話してくださる、戦争中の学徒動員のこと、空襲のこと。

「B29はね、操縦士が見えるっくらい低いところで、女学生追っかけるみたいに飛んでたんだぞう」と、さっきあったことのように、70年も前のことが聞く事ができて、本当に玉手箱のようです。

ひとりの女性をはじめた、モールとポンポンでつくるクリスマスリースが、あっというまに伝播して、おうちを飾るらしきリースも、今回はたくさん出来上がりました。

急に寒さも増し、集会所のドアもすべてしめないと温かい空気が逃げてしまう感じ。雪の心配をしながら石巻までやってこなくてはならぬ季節に入ってしまったことを感じてしまう、この日の「ハッピードール」でした。

